

# Yonzyo よんじやー

Vol. 2

図書館だより  
山梨県立大学・山梨県立看護大学  
山梨県立看護大学短期大学部



## CONTENTS

巻頭言 .....	2
「特色GP」と図書館からの情報発信 .....	3
教員が薦める実習に役立つ本（飯田キャンパス Voice） .....	4～5
教員が薦める実習に役立つ本（池田キャンパス Voice） .....	6～7
図書館通信、編集後記 .....	8

# 「知っていますか タバコのこと」

健康被害の世界的脅威であるタバコについて書きたいと思います。近年、若年者層の喫煙率が上昇し、特に1900年代以降20歳代の女性の喫煙率の上昇していることに注目してください。

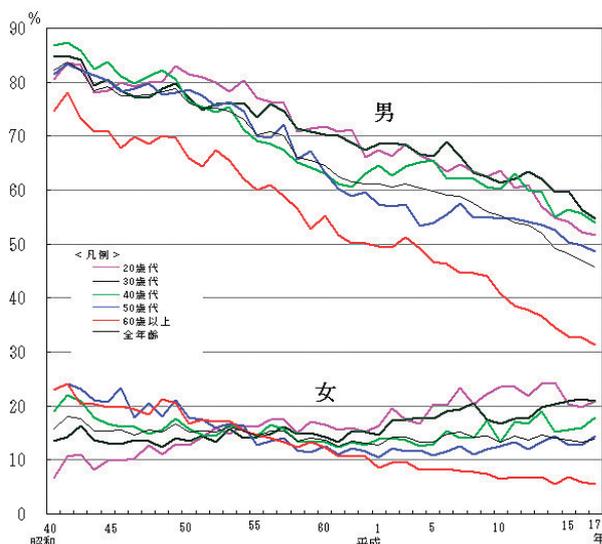


図1 性別・年代別喫煙率の推移

(資料) 厚生労働省の最新たばこ情報「たばこ健康」  
(健康ネット・健康・体力づくり事業財団) 掲載  
「平成17年全国たばこ喫煙者率調査」(日本専売  
公社、日本たばこ産業株式会社) より  
<http://www.health-net.or.jp/tobacco/menu02.html>

2005年2月WHOは『たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約』が発効したことを発表し、締約国に対しては、タバコ販売時に健康被害を明示すること、未成年者の自動販売機によるタバコ購入を防ぐといった措置を求めています。

日本では2003年に健康増進法が制定され、その中でタバコに関する条文として第5章第2節第25条に受動喫煙の防止が明言されました。受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずる場所として、学校、体育館、病院、官公庁施設、飲食店等を挙げています。公共の乗り物である飛行機は国内線から国際線へと全席禁煙が実施され、JR東日本は2007年4月から喫煙車両を全面的に廃止することを宣言しました。

近年ようやくタバコの健康被害が声高に言われるようになりましたが、江戸時代の儒学者である貝原益軒の養生訓巻第4に「煙草は毒である。煙を吸い込むと目が回り倒れることもある。・・・習慣になると煙草をやめられなくなり・・・」とタバコの毒性及び習慣性についての記述があります。

看護職能団体である日本看護協会は、医療職の中では先駆的にタバコについての検討を始め、2001年には「タバコ対策宣言」を公表しました。次に看護職の喫煙問題対策検討委員会(委員長は筆者)を設置して看護職に対して喫煙がもたらす健康被害の知識の普及に努めてきました。しかし、看護職は国民全体の健康を守るべき立場でありながら、タバコに関する知識は十分とはいえず、喫煙により自らの健康に障害をきたしている意識も足りないのが実情です。これから病院をはじめ保健医療福祉施設に働く皆さんは、禁煙を強制されるのではなく、タバコについての知識をしっかりと持ち、自らの意思でタバコを手にしないうことを切に願います。

倉田トシ子 (山梨県立看護大学短期大学部 老年看護学)

# 「特色GP」と 図書館からの情報発信

看護大学短期大学部が全学的に取り組んできた「当事者参加授業」が、平成17年度の文部科学省「特色GP (Good-Practice)」に採択された。「看護の対象者やその家族(以下,当事者)」を講師とするこれらの授業の成果は、当初から確かなものと感じていた。そしてその成果に関する情報発信も重要であると考えていた。シラバスやホームページでの紹介はもちろん、当事者の語りや授業の様子を多くの人に伝えたい、と……。幸い、図書館の配慮で「当事者ビデオコーナー」として、関係するビデオ16本が配架できて、それらが可能となった(写真)。

「特色GP」に採択された後は、特色GP室を拠点に「当事者参加授業委員会」として活動している。具体的には、各授業の実施と評価および授業評価ソフトの作成、シンポジウムの開催やフォーラムへの参加、アウトカムに関する卒業生への調査、海外視察、「当事者ビデオコーナー」の充実、などの事業を展開している。特に、本年9月には関係するビデオ及びDVD各10本を図書館ビデオコーナーに追加することができて、嬉しく思っている。

さて、英国Oxford大学に本部を置く、患者の語りを動画としてネット上で紹介する活動がある(DIPEx「Database of Individual Patient Experience」)。「がん」「うつ」「認知症」「妊娠」「終末期を生きる」などの26のモジュールに、各々30人前後の患者の語りが収められている(www.dipex.org)。アクセスすると個々の患者の語りを視聴でき、さらに、例えば「痛み」という語の検索によって、それぞれの患者の「痛み」の語りの部分だけの視聴もできる。現在、日本版の設立(DIPEx-JAPAN)も検討されていて、今後の発展が期待されている。

この活動はナラティブな視点などにおいて本学の取り組みとの共通点も多く、海外視察の折には英国の看護教育における当事者参加の状況の視察と同時に、この「DIPEx」活動についての見聞も広げてきたいと考えている。また情報の発信方法についても、参考になるものがたくさんあると感じている。反対にこれらを通して、本学の取り組みとの差異を見出し、本学の特徴を認識する機会になるものとも思う。それは、当事者と学生との直接的な相互作用の重視、対象を全体として捉える全体性、また地域に根ざした活動として限定された規模であること、などである。今後も引き続き、本取り組みについて図書館を拠点とした独自の情報発信ができればと考えている。

(山梨県立看護大学短期大学部「当事者参加授業委員会」森川三郎)

**HOT LINE** 県立看護大短期大学部が実践している「当事者参加授業」の収録ビデオを紹介するコーナーが同図書館にお目見えした=写真。在学生やOGのほか、県内の看護、福祉などの分野で専門職に携わる人たちがビデオブースで無料で見ることができる。

ビデオは「当事者参加授業」と「地域に関係する当事者活動」の2シリーズ、計16本。「当事者参加授業」は障害や病のある当事者が講師となり、精神、地域などの各看護学講座を受講している学生を対象に開講している。当事者は統合失調症や脳性麻痺(まひ)、在宅ALS、長期透析、医療事故、がんなどさまざまな立場にある人たち。4年前から開講された授業が収録されている。

中には当事者参加授業が始まっ

が心の底から学生たちに語りかける真しな姿勢が直接に伝わってくる」とも言う。「地域に関係する当事者活動」では、精神障害のある当事者たちが運営する「ベ

**「当事者授業」ビデオで公開** 県立看護大短期大学部

た2001年から4年連続で講師を務める人もいて「教壇で語りかける表情が4年間で次第に生き生きとしてくる当事者もいて、受講生に限らず、授業が当事者それぞれに与えた影響なども見て取れる」と森川三郎講師は話す。また「当事者

てるの家」の講演会などが収められている。「べてるの家」は北海道浦河町にある授産施設や共同作業所の総称。2002年来県、県立看護大短期大学部精神看護学講座で初めて講演会を開催。昨年の学園祭「聖灯祭」でも

2部構成で講演会を開いた。図書館は土曜日・日曜日・祝日休館。開館は午前9時から午後時30分まで。



山梨日日新聞 2005(平成17)年3月2日(水) 当事者参加授業紹介記事

## 幼稚園実習・保育実習・施設実習、教育実習



人間福祉学部では、すでに幼稚園実習や保育実習、そして、施設実習が始まっています。また、国際政策学部で教職課程を履修している学生諸氏は、来年度から実習が始まります。こうした実習において、参考になりそうな本を、それぞれの分野から紹介しました。

図書館にもありますし、手ごろに購入できる本ですので活用してください。

### 幼稚園実習・保育実習

『〈新版〉幼稚園・保育所実習の出会い問題とその対応』小館静枝他共著 萌文書林 1988年初版  
『保育カリキュラムをつくるはじめての一步—長野県短期大学付属幼稚園の実践—』立浪澄子他共著  
新読書社 2000年初版

幼稚園や保育所実習のための参考図書を1, 2冊挙げるというテーマを与えられた。その種の図書は、今日まで相当数出版されている。その中から1, 2冊を挙げるのはなかなか大変な作業である。加えて、手元に置きさえすれば、まるで辞書や辞典のように、すぐに役立つ一冊というのは、容易に思い浮かばない。それくらい実習というのは、基本がありながら、多様性や書き手の実習観・実践観・保育者観が反映されている。また、実習のポイントをつかみ、わかりやすく書かれた数冊の図書が思い浮かぶのだが、出版年が古いと、たとえば「保育士」ではなく、しきりに「保母」という言葉が登場したり、法律が前のものだったりするので、自分が履修している教職や資格の条件とのずれが目立ったりする。これでは、なんとなく実習へのモチベーションが削がれるのではないかと懸念される。さて、ぐずぐずと述べずに、そろそろ結論を出さねばならない。新しい本ではないが、上記のような欠点が目立たず、実習の始まる前に読んで、実習について、あるいは実践や保育者について考え、そこからどういう態度で実習に臨むかを探るということを基準に以下の2冊を紹介したい。まず、『〈新版〉幼稚園・保育所実習の出会い問題とその対応』（小館静枝他共著 萌文書林 1988年初版）はどうだろうか。実習では様々な場面に遭遇する。その時大切なのは、できるだけあわてないように気持ちのコントロールをすることである。そのために、想定されるさまざまな場面が例示されている本著を読みながら、「自分ならどうするだろう」と考えてみるとよいのではないか。次に、『保育カリキュラムをつくるはじめての一步—長野県短期大学付属幼稚園の実践—』（立浪澄子他共著 新読書社 2000年初版）はどうだろうか。実践は「這い回る経験主義」であってはならない。感性と理性と双方を駆使して実践は成立する。そして幼児や他の保育者、保護者との協働作業でもある。そのイメージを深くすることによって実践への関心を高め、更にはそれぞれの実習の課題を深める一助としてはどうか。

(人間福祉学部 人間形成学科 阿部 先生)

# 実習に役立つ本



## 施設実習 『未知との遭遇』 奥川幸子著 三輪書店、1997

著者は対人援助トレーナーとして知られるが、そのバックボーンは24年に及ぶメディカルソーシャルワーカーとしての経験である。とかくソーシャルワーカーはその仕事の中身がわかりにくいといわれるが、ソーシャルワーカーという職種に興味を持つ人に、1冊だけ本を薦めるとしたら、この『未知との遭遇』をお勧めする。現場実践の場面を通じてソーシャルワークという仕事の魅力・醍醐味が描かれ、対人援助に必要な基本的な視点が示されている。この本にもう少し早く出会っていたら、私は現場での実践をもう少し続けていたかもしれない。そんなふうに思わせる本である。

(人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 伊藤 先生)

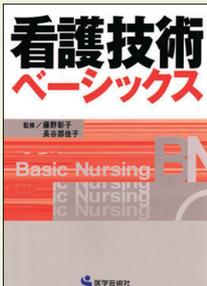
## 教育実習 『授業－子どもを変革するもの－』 齊藤喜博著 国土新書、1963

授業をどのようにしたら、よりいっそう子どもの可能性を伸ばすことができるのか、良い授業とは何か、これは「人が人を教える」上で永遠の課題かもしれない。授業についての検討はその意味で大変古い歴史をもっている。しかし、授業を学問として、大学の教員養成の柱の一つとして検討し始めたのは必ずしも古くはない。この本の著者である、齊藤喜博は、群馬県の校長を経て、宮城教育大学の教員になり、授業学を確立しようとした人である。また、この本の中にでてくる「山の子ども」の授業は、本来の授業のあり方をわかりやすく解いてくれる（その授業をした時の子どもの顔の変化も写真で載っている）。学年によって、教科によって、そして、目の前の子どもによって、「よい授業」に対する答えは様々であろうが、「山の子ども」の授業を通して、「どれが正しいかということではなく、つぎつぎと高い解釈、新しい解釈を発見し創造し、新しい別の地点に到達していくことに意味がある」という齊藤の授業論はわかりやすく、授業の本質を解いてくれるように思う。

(教職課程委員会 堀井 先生)

なお、保育園実習、幼稚園実習、各学校段階の教育実習においては、それぞれの学校園においてどのような内容で授業しようとしているか国が示している基準を確認することが大切です。安価で売られていますので、是非購入してください。

『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『学習指導要領（小学校、中学校、高等学校あるいは各学校段階教科別）』



### 基礎看護学実習

#### 『看護技術ベーシックス』

藤野彰子他監修  
医学芸術社 2005年

基礎看護学実習は看護とは何かを知る導入実習です。基礎実習Ⅰでは人間関係形成を基盤に、対象がもてる力を生かすのように関わったらよいのかを学びます。また基礎実習Ⅱでは看護を系統的に計画し実践します。したがって日常生活援助技術を実践する機会が多いので、基本的なポイントや手技の確認の為に看護技術の参考書は必要です。活用しやすさや持ちやすさや値段などから考えると標記の本（藤野彰子他監修「看護技術ベーシックス」医学芸術社3,800円）が手頃と思います。2段組みで読みやすく、根拠が豊富に記されており図や表がシンプルで見やすいです。他に竹尾恵子監修「Latest看護技術プラクティス」学研4,830円もおすすめです。

（看護学部 小林 先生）



### 精神看護学実習

#### 『セカンドオピニオン 精神分裂病／統合失調症 Q&A』

高橋清久監修・朝田隆編集  
医学書院 2002年



精神科臨床においては、ケースや状況に応じた「多様な価値観」を検討する機会に直面することが多い。これは初学者の苦手とするところで、臨地実習においても同様である。本書では「精神医療の答えは一つじゃない」を理念に、統合失調症に関する109の質問と、それに対する複数の医師・看護師・当事者などのセカンドオピニオンを載せている。その内容は臨床的で飾りがなく率直である。具体的に「多様な価値観」を扱ったQ&Aは、実習前後の学習に役立つと思う。2章「病院で何をするのか」

は本講座の森川も執筆しているので、親近感をもって読んでほしい。

（短期大学部 森川 先生）



### 成人看護学実習 (慢性期)

#### 『New 疾患別看護過程の展開』

山口瑞穂子、関口恵子監修  
学習研究社 1999年

この本は臨地実習で学生の皆さんが多く遭遇する代表的な疾患、状態、治療別の患者の看護過程が掲載されています。病気の経過別の看護のポイント、情報分析の視点、患者の目標などが簡単にまとめてあり、アセスメント、看護診断、看護計画などが、根拠や留意点なども加えて記載されています。皆さんが受け持つ患者の健康状態、治療状態に基づく基本的看護の概要をつかむには便利でしょう。図書館でも年間貸し出し件数が多い図書です。ただし、医療は日進月歩ですので、文献活用の際には発行、改訂の時期を確認し、新しい知見の情報収集を十分に行うことを忘れずに！！

（看護学部 旗持 先生）

### 成人看護学実習 (急性期)

#### 『講義から実習へ 周手術期看護 シリーズ 1. 2. 3. 4』

竹内登美子編著  
医歯薬出版株式会社 2000年～2003年



急性期での看護実習、特に周手術期看護を学ぶ時は、看護過程の展開を速やかに実施し看護計画を立案・実践することが必要となる。この『講義から実習へ 周手術期看護シリーズ』は、周手術期看護を展開実践する上での、必要な基本的知識、各時期での必要な看護を具体的に、そしてその考え方をわかりやすく解説し載せている。実習の展開が速くて何がなんだかかわからない、どのような看護をおこなったらよいの、どう考えたらよいのだろうかという時の参考図書として、活用してほしい。

（短期大学部 城戸口 先生）

# 実習に役立つ本



## 老年・在宅看護学実習（在宅）

### 『看護・介護法令 ハンドブック 第2版』

清水嘉典子、門脇豊子編集  
医学書院 2004年

地域看護学の実習には、在宅療養者とその家族に対する訪問看護を主に学ぶ「老年・在宅看護学実習」、保健所・市町における保健活動について主に学ぶ「公衆衛生看護学実習」がある。2つの実習に共通する必要な視点として、法的根拠・制度がある。法的根拠・制度は社会情勢・背景の中で生まれたものであり、地域看護を実践する上でその理解は必要不可欠である。実習中は制度・法的根拠を1つ1つ確認しながらすすんでいく。本書は保健・医療・福祉に関する制度や業務に関する法律等の規定が、コンパクトかつ検索しやすくまとめられている。制度・法律に苦手意識をもつ学生も受け入れやすいのではないだろうか。

（看護学部 郷 先生）



## 老年・在宅看護学実習（老年）

### 『脳損傷に伴う摂食・嚥下障害 経口摂取標準化ガイド —経口摂取実現のためのアセスメント・段階別アプローチ—』

小山珠美監修 日総研出版 2005年

高齢者のケアを学ぶ上で、摂食・嚥下障害への援助は重要です。社会（看護）の動向は、自立支援を目指す保健・医療・福祉の連携の中で、2004年に厚生労働省による「高齢者リハビリテーションのあるべき方向」が出され、2006年には介護予防を推進する事項に〈口腔機能向上〉がポイントにも入り、「経口移行」「経口維持」など高齢者に対する口から食べる援助が評価されるようになりました。本書は、人間にとっての口から食べることの意義を再考し、摂食・嚥下リハビリテーションの早期開始の必要性、急性期医療と回復期リハビリテーション、地域への連携の現状の課題と問題、経管栄養から経口摂取を段階的に進める方法まで、実習で活用してほしい一書です。

（短期大学部 檜原 先生）



## 母性看護学実習

### 『エンパワメントのケア科学 —当事者主体チームワーク・ケアの技法—』

安梅勅江著 医歯薬出版 2004年

短期大学部母性看護学は当事者参加授業をととした当事者の語りに共感し、他者との繋がりを体験するケアリングの視座を臨地実習の経験においても大切にしています。臨地実習の場は、妊産褥婦に共に添い、人間の尊厳・可能性への気付き、全身があふれるような感動等、看護の対象者との身体と身体の間から温かい文化が育まれるそんな環境を目指しています。本書は母性看護学臨地実習をパワーアップする「エンパワメント」について「元気にすること」「力を引き出すこと」「好奇心の共感ネットワークをつくること」など、臨地実習で自らの力を発見し、新鮮な気持ちでものごとに出会うために、当事者主体チームワーク・ケアの基盤が体系的に整理され実践への活用が期待できる一冊です。

（短期大学部 伏見 先生）

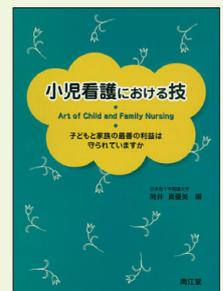
## 小児看護学実習

### 『小児看護における技 —子どもと家族の最善の利益は守られていますか—』

筒井真優美編 南江堂 2003年

小児看護における“技”とは何？と聞かれたら、どう答えますか？ A4版246頁690gのこの本には、病気による苦痛と闘う子どもの言動や子育てを担う親の姿など100件を超える事例と、看護師の関わりとその効果について紹介されており、重量感のある構成内容です。保育園・幼稚園や病院で生活を送る子どもとその家族との出会いから始まる小児看護学臨地実習において、子どもと家族の発達状況や健康状態を把握する“技”、子どもや家族の力を引き出す“技”等々、小児看護に必要なとされる多様な“技”についての学びを支援してくれる一冊となることでしょう。

（看護学部 大久保 先生）



ここでは、各図書館でみなさんにお知らせしたい図書館のコーナーや資料のほか、図書館で起きたできごとなどを紹介します。

## 県立大学図書館

### ビデオ・DVD コーナー新設!!

-こんなに視聴覚資料があったなんて職員もびっくりです。

県立大学図書館では、今まで共同研究室内にあったビデオ・DVDなどの視聴覚資料を整理し直し、1階雑誌閲覧室の入り口にコーナーを設けました。

図書館には県立女子短期大学時代からの視聴覚資料が多くありましたが、置き場所がなかったこととデータ入力されてなかったことで非常に利用しにくい状態でした。しかし、書庫棟の新設を機に雑誌閲覧室にスペースを確保し、データ入力も行いました。

データ化が終了したものは910タイトルあり、内容は歴史、経済、保育、介護、食品、語学、外国映画、日本映画等々多岐に渡っています。名作映画もあります。これらは、館内閲覧のみですが、コーナーにはビデオテレビもありますので、ぜひ利用してください。なお、利用の際にはカウンターにお申し出ください。

## 県立大学看護図書館

### 使ってみよう! オンラインデータベース

レポート作成、実習、看護研究で必要とされる文献検索にとっても役立つオンラインデータベースを使ってみませんか?

#### ●看護・医学・薬学関係の文献を探す場合

→〈医中誌Web〉〈JDream II〉〈医学・薬学予稿集全文データベース〉を使ってみましょう。

#### ●看護・医学・薬学以外の幅広い分野の文献を探す場合

→〈GeNii〉〈MAGAZINEPLUS〉を使ってみましょう。

各データベースは、池田キャンパス内（看護図書館、情報処理教室、学生ホール、研究棟、大学院棟）から接続が可能です。

アクセスは、山梨県立大学ホームページ → 図書館 → 看護図書館

→ データベース検索 〈<http://www.ycn.ac.jp/kyotsu/library/database.html>〉

（各データベースヘルプ。概要、ログイン方法、ID・パスワードを掲載）

検索でわからないことがありましたら、図書館職員までご質問ください。

#### 編集後記

図書館広報誌Yonzya第2号をお届けします。ご寄稿くださいました皆様には心より御礼申し上げます。今回は、各学部、学科、領域の先生方に「実習に役立つ」という視点で資料を紹介していただきました。各資料は、両キャンパスの図書館のどちらかで必ず所蔵していますので、配本サービス（別のキャンパスから取り寄せ）などを利用してぜひ手に取ってみてください。

Yonzya (よんじゃー) Vol.2 2006年12月28日発行

#### 発行

山梨県立大学図書館  
甲府市飯田5-11-1 TEL: 055-224-5340  
E-mail: lib@yamanashi-ken.ac.jp

山梨県立大学看護図書館  
山梨県立看護大学・看護大学短期大学部図書館  
甲府市池田1-6-1 TEL: 055-253-9429  
E-mail: toshokan@yamanashi-ken.ac.jp